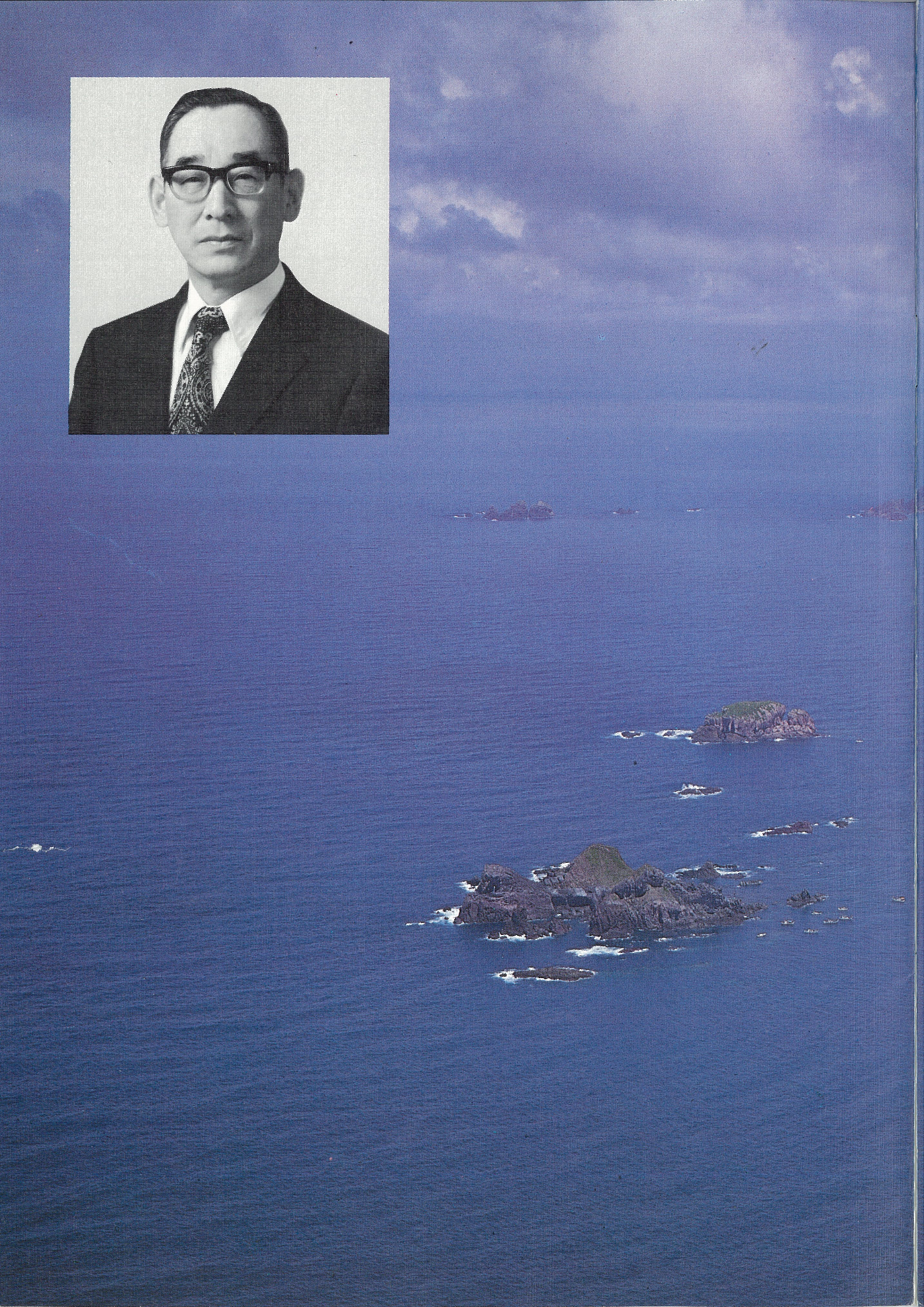




石川県漁業調査指導船

白山丸



石川県漁業調査指導船“白山丸”の竣工にあたって

四面の海に囲まれている我が国は、遠い昔から今日まで、海と海の資源を大いに利用してきましたが、近年200海里時代という大きな時流に直面し、周辺の海をもう一度見直すことが必要となつてまいりました。

このような状況を踏まえ、石川県におきましては、水産関係の試験研究機関等の施設の充実、技術の向上を鋭意手がけ、関係者の方々のご期待にこたえるよう努力しております。その一環として、このたび皆様方のご協力により、新時代にふさわしい新鋭“白山丸”の竣工をみることができ知事として喜びに堪えません。

我々の日常生活を眺めるとき、海の恩恵は大きなものがあり、この海を科学的に調査研究し、資源の再開発を行うことは県民全体の生活の向上に貢献するものと存じます。

今後“白山丸”は関係機関と一体となつて新たな着想のもとに海を拓き、水産業の発展に大きく寄与し「水産石川」の名を高揚するものと確信する次第であります。

昭和53年8月

石川県知事 中西陽一

白山丸のあらまし

主要設備要目

○起工年月日	昭和53年2月24日
○進水年月日	昭和53年5月24日
○竣工年月日	昭和53年7月27日
○長さ(全長)	40.80 m
(登録長)	34.21 m
○幅	7.30 m
○深さ	3.05 m
○総トン数	189.52トン
○純トン数	53.46トン
○魚倉容積	23.07 m ³
○燃料油槽容積	91.90 m ³
○清水槽容積	18.33 m ³
○最大塔載人員	22名
○速力試運転最大	13.45節
航海	12.00節
○航行区域	遠洋国際航海
○船舶番号	122534
○信号符字	JEQI
○建造所	三菱重工業(株)下関造船所

●航海計器

レーダー	
JMA-158B 12インチ 120海里 1台	日本無線
ハイブリッド航法装置	
1式	日本無線
衛星航法装置	
SNA-10PJ 1台	日本無線
ロラン	
JNA-108B 1台	日本無線
XYプロット	
NJW-31 1台	日本無線
コンピュータ	
NOC-3000C 1台	日本無線
ミニプリンター	
NKG-3001	日本無線
ジャイロコンパス及びオートパイロット	
IPS 3K レピータ 7ヶ(航海コンソール組込)	北辰電機
電磁ログ	
EML-12 2レンジ式 -1~7KT	北辰電機
-2~14KT	北辰電機
風向風速計	
KA-101 ベーン式	光進電機
磁気コンパス	
SH-611 反映式	東京計器
水晶時計	
QC-MI 子時計 15個	精工舎

●調査観測機器

測深機	
TS-2P 電動油圧 2000m 150kg×82m/分	鶴見精機
TS-1P 電動油圧 500m 120kg×82m/分	鶴見精機
GEK手動巻取りリール付属	鶴見精機
STD 内蔵記録式 1,000m可測	鶴見精機
デジタルバンスーモグラフ	
1,000m可測	鶴見精機
塩分水温計	
オート・ラブポータブルS-T計 100m可測	渡部計器
サーモサリノグラフ	
自記記録式	鶴見精機
サリノメーター	
AUTO-LAB INDUCTIVE SALINOMETER	渡部計器
自記流向流速計	
デジタルプリンター内蔵式	鶴見精機
曳航深度距離記録計	
4連 500m	鶴見精機
水中照度計	
コード100m付き	渡部計器
分光光度計	
UV-190 デジタル表示	島津製作所
恒温槽	
ラボクール LC-130E	東洋科学産業

海水温度計

MKN-21Z (電子式自動平衡型記録式)スピード3段切換…村山電機

●漁撈・甲板機械

トロールウインチ

3T×2ドラム×100m/分 2000m……………川崎重工

ネットホーラ

K-Y18型 油圧 0.3T×170m/分……………大成機械

ラインホーラ

TO-2型 油圧 1.5T×70m/分……………大成機械

ラインホーラ

SK-3型 油圧 3.5T×40m/分……………大成機械

電動式いか釣機

MD-2型 10台……………東和電機製作所

油圧式いか釣機

釣深度10~200m 4台……………油研工業

網処理機

350型ボールワングー……………興洋

操舵機

R11-100V. HI 70°/20秒……………川崎重工

揚錨機

電動油圧 2.5T×15m/分……………川崎重工

キャプスタン

電動油圧 1.5T×15m/分……………川崎重工

ホイスト

HF-I-H 0.9T×30m/分×2台……………三菱電機

HF-1/2A-H 0.5T×30m/分×1台……………三菱電機

ソナー

FSS-31C PPI方式 360° 3200m 1台……………古野電気

魚群探知機

FWGT-22 1台 0~2000m(ネットレコーダー記録併用) 古野電気

FWGT-23 1台 0~2000m……………古野電気

レーダブイ

RB-830 2個……………光電製作

レーダブイ受信機

RB-825 1台……………光電製作

セルコールブイ

OV-82 2個……………大野電子開発

セルコール呼出装置

NMA-1005 1台……………J R C

セルコール受信装置

NMB-1005 1台……………J R C

探照灯

SFL-40×H 1KW 1台……………湘南工作

ネットゾンテ

FNZ-III 1式……………古野電気

ネットレコーダーウインチ

1.5KW 1式……………古野電気

●機 関

主機関

6MG25BX 1300馬力×720RPM×1台……………新潟鉄工

補助機関

6KFL-UT 270馬力×1200RPM×1台……………ヤママー

第1発電機

防滴自励式 450KUA×AC225U×1台……………大洋電機
第2発電機

防滴自励式 220KUA×AC225U×1台……………大洋電機
推進器

4翼可変ピッチプロペラ 2100mm……………かもめ
バウスラスタ

TF-16 推力 1.6トン……………かもめ

油水分離器

SFU-020 0.2m³/時 5PPM以下……………笹倉製作

空気調和機

OP-10KUZ 冷房28000kcal/時……………日新興業

冷凍機

NH-16 KS10LX……………日新興業

●通信装置

主送信機

NSD-1151 150W……………日本無線

第1SSB送信機

NSD-1782B 200W……………日本無線

第2SSB送受信機

JSB-75D 75W……………日本無線

第3SSB送受信機

JSB-25 25W……………日本無線

DSB第1送受信機

NTD-1001 27MHZ 1W……………日本無線

DSB第2送受信機

JHV-5122 150MHZ 1W……………日本無線

第1全波受信機

NRD-71 デジタル周波数シンセサイザー……………日本無線

第2全波受信機

NRD-10 デジタル表示式……………日本無線

無線方位測定機

KS-530 KS-518……………光電製作

ファックス

JAX-29……………日本無線

船内指令装置

NVA-1405L-24 50W……………日本無線

自動交換電話機

AR-10S 10回線(ページング有)……………沖海洋

芝電式電話機

2システム……………沖海洋

●救命設備

救命筏

HTA-25A 25名用×2……………三菱電機

交通艇

TRI-10FS 8馬力船外機付き……………ヤマハ

遭難信号自動発信機

JXS-1005……………日本無線

●その他の設備

自動皮剥機械

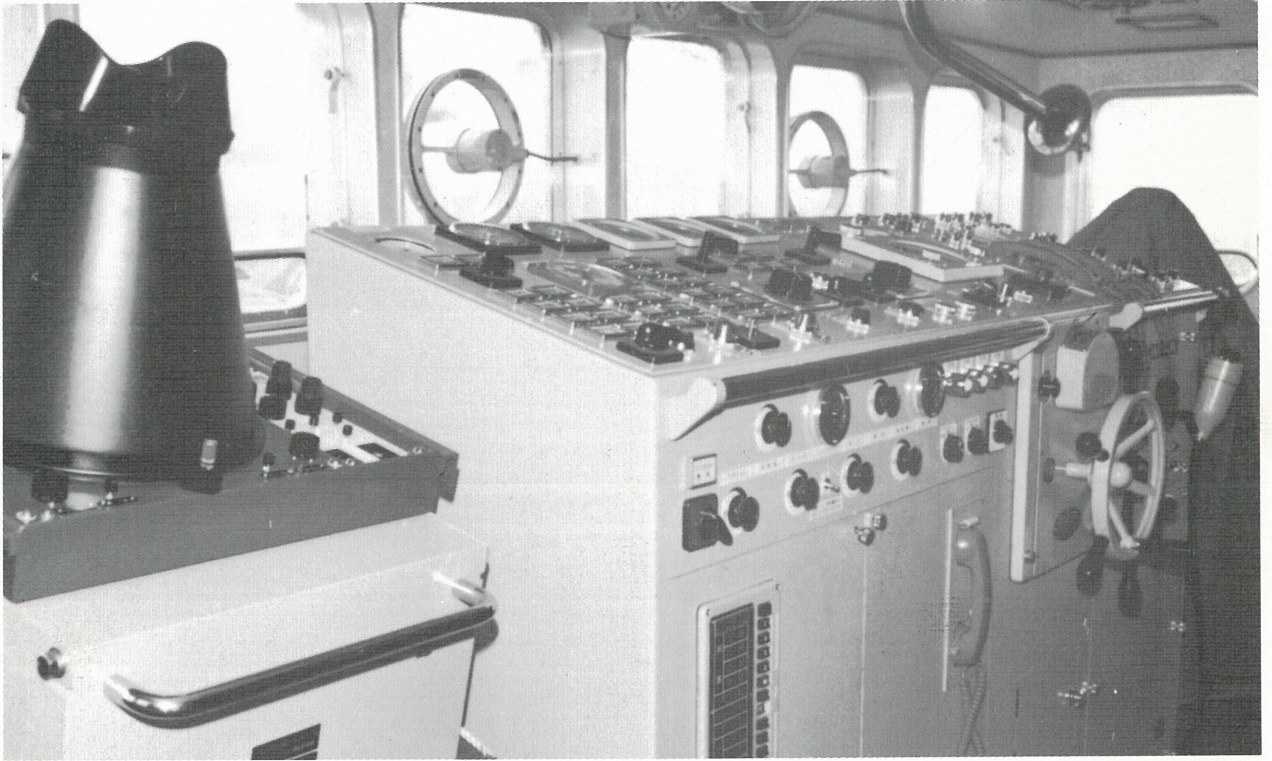
TOACO-CS-28……………東亜交易

(いか用200P 60AZ 1.1PS)

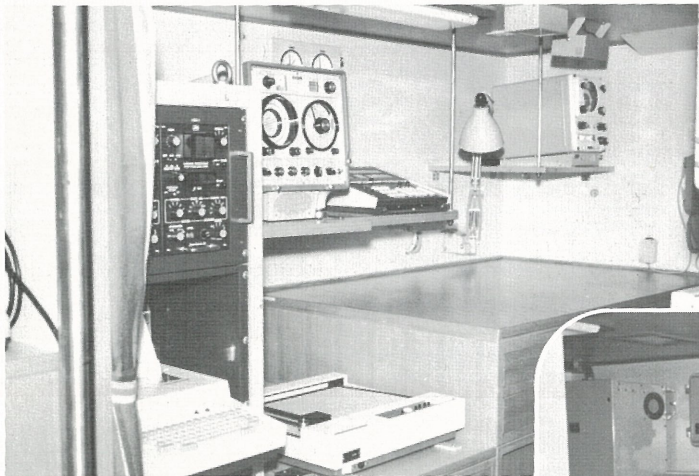




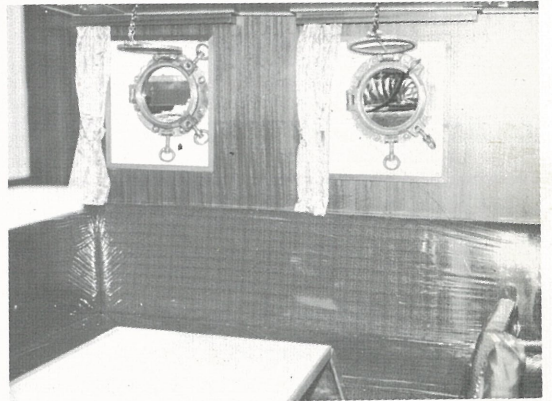
おもな設備



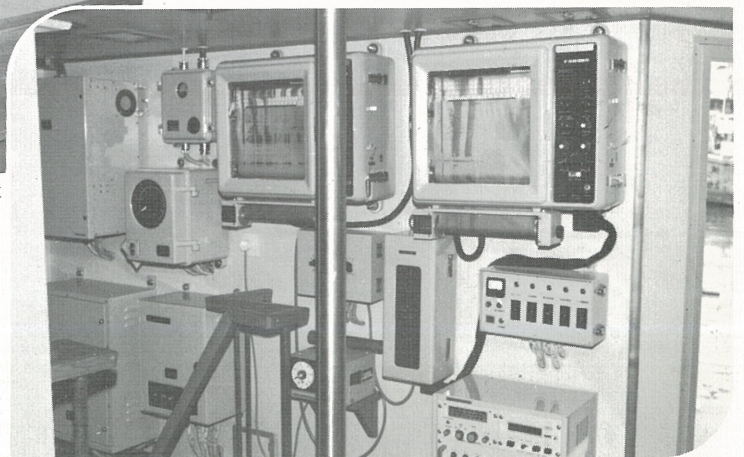
ブリッジ



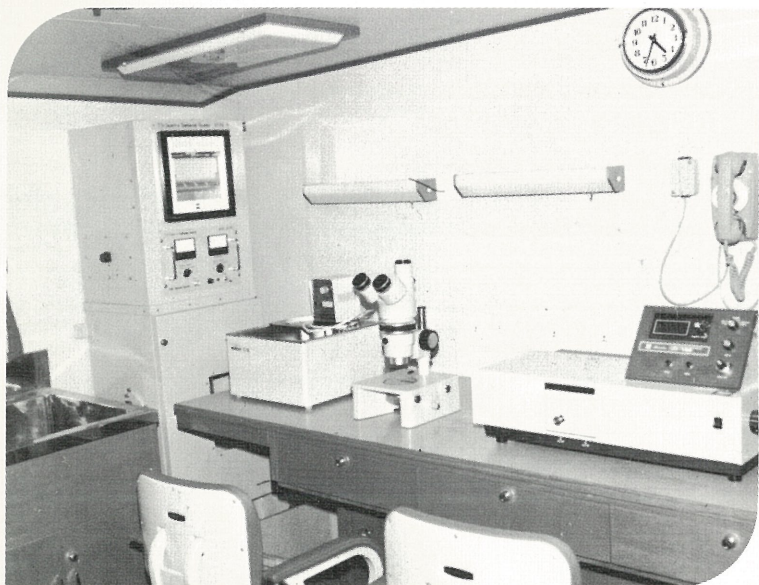
ハイブリッド(衛星航法)装置



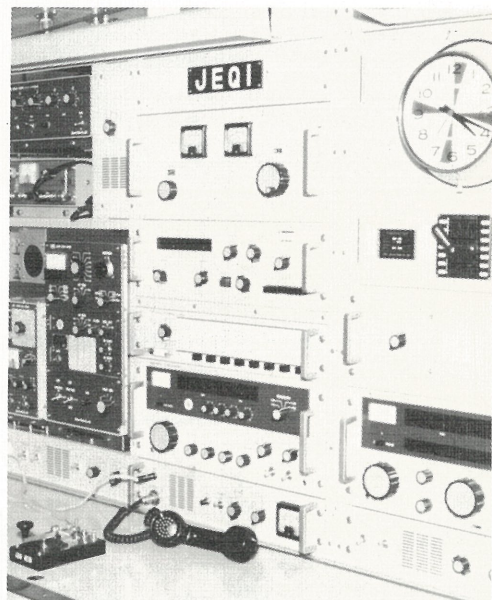
サロン



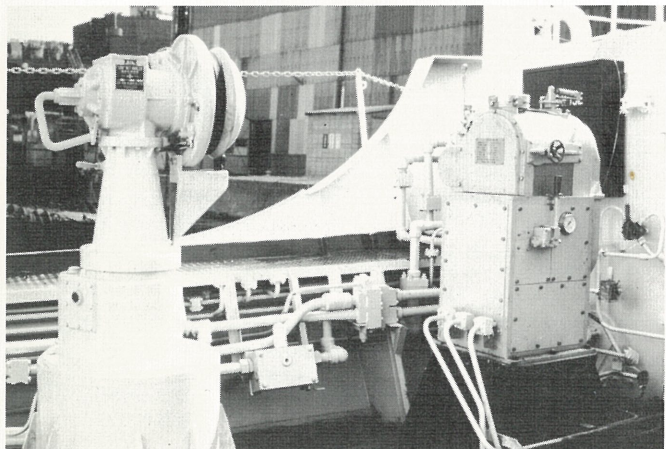
魚群探知機



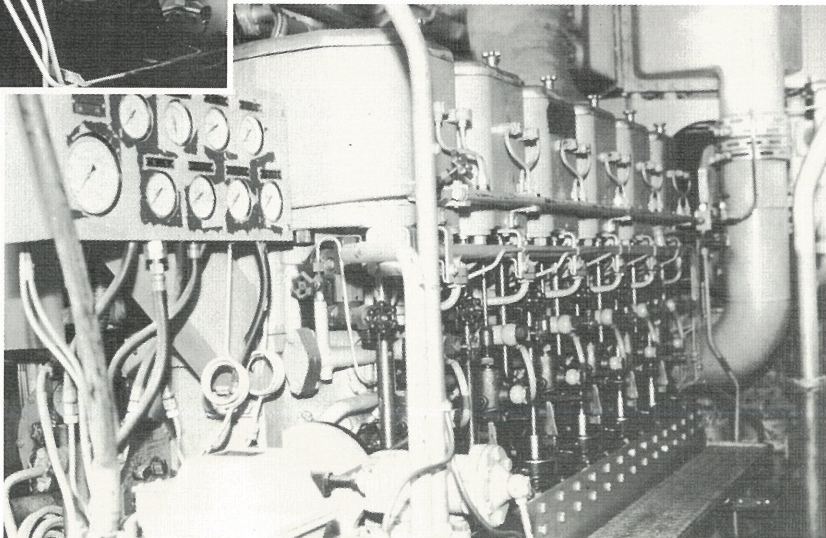
調 査 室



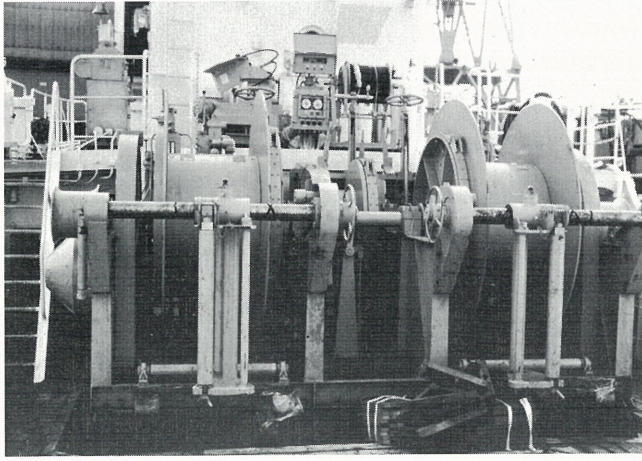
無 線 室



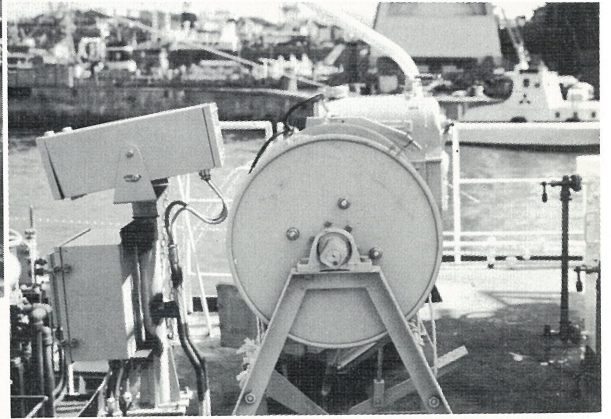
測深儀、揚網機



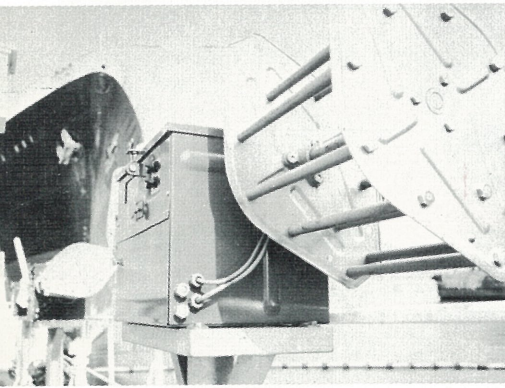
機 関 室



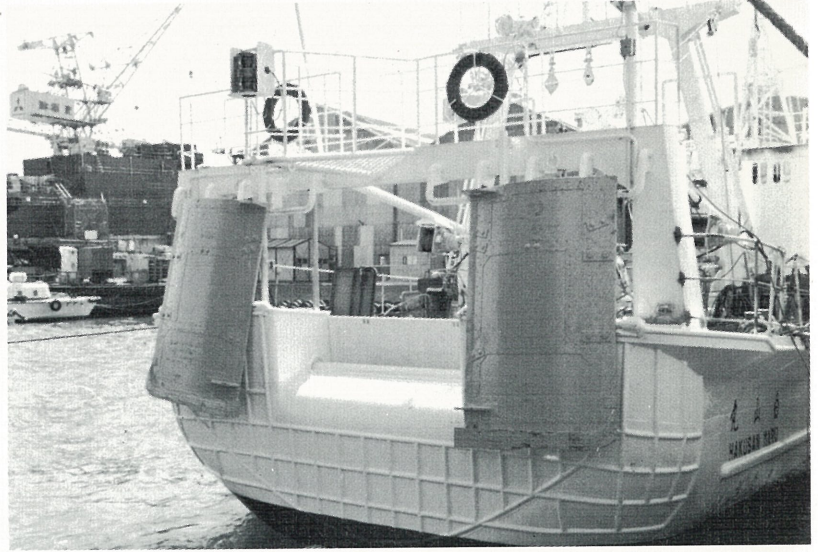
トロールウインチ



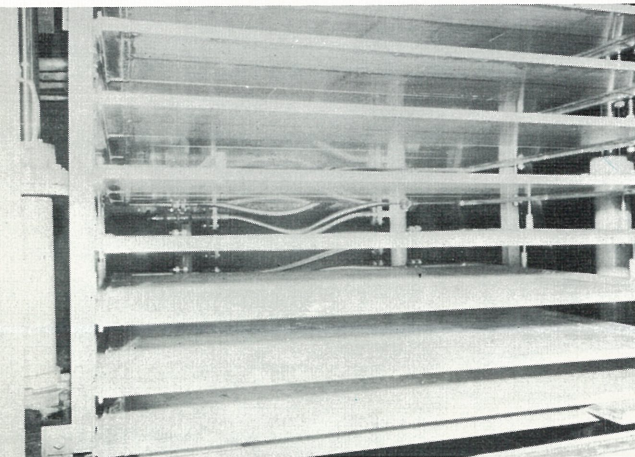
索長計・G.E.K.



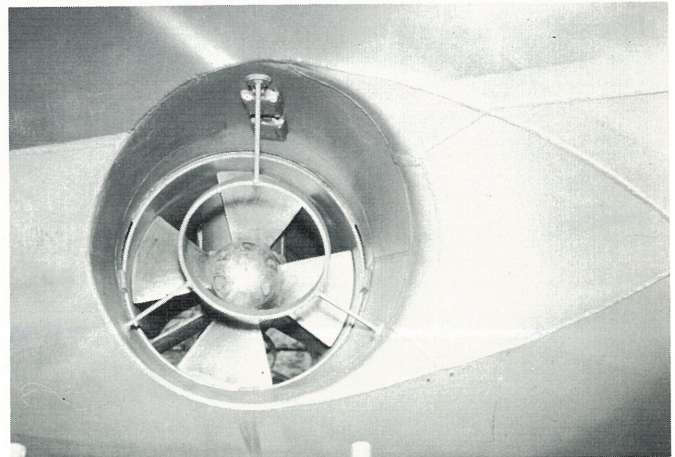
イカ釣機



中層用オッターボード

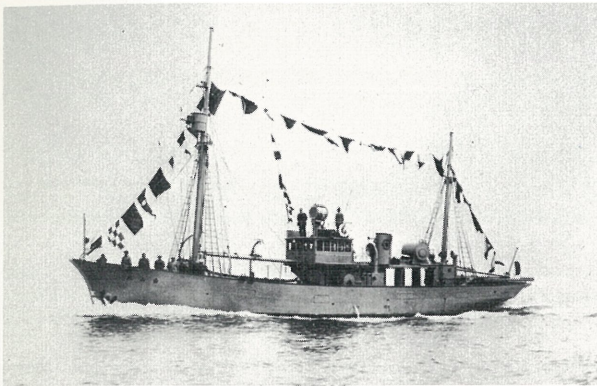


凍結室



バウスラスター

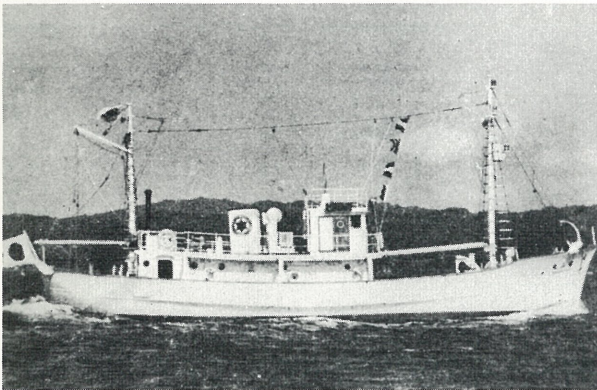
白山丸の沿革



初代白山丸 89.16T. 200PS

昭和3年3月、三菱、長崎造船所

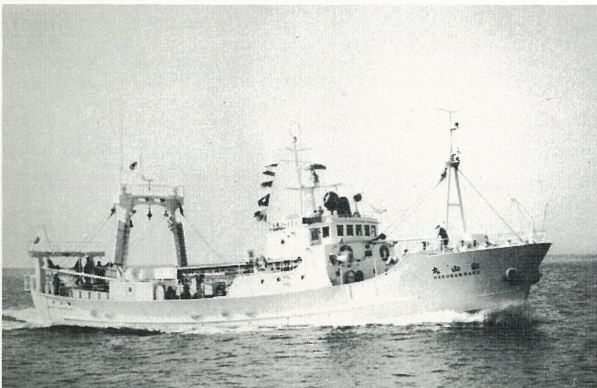
大正末期から昭和初期にかけ、機船漁業の気運が高まり漁場の拡大開発が望まれ、北鮮海域にて、さば巾着網、いわし刺網、すけそう縄による漁場調査、北海道、三陸沖合の鮪延縄の調査、沿海州海域の底曳漁場開発調査等遠洋、出稼の漁業の発展のため開拓、先駆的役割を充分にはたしたが、昭和18年、海軍に徴用され、昭和19年6月西部ニューギニア、マノクワリ島にて被爆、その雄姿を南海の落陽と共に没し去った。



第2代白山丸 62.64T. 160PS

昭和25年8月、東日本重工K.K(三菱) 七尾造船所

戦後日本海における総合的資源調査、対馬暖流開発調査に参加、現在の海況、漁況予報システムの基礎を確立した。また、白山瀬、大和堆、佐渡北方礁等沖合漁場の開発に貢献し、沖合するめいか漁業、日本海ます漁業、さんま漁業等の調査を行い、今日の沖合漁業の基礎を固め、昭和42年その任務を完了した。



第3代白山丸 119.40T. 500PS

昭和42年2月 檣崎造船K.K

スターン型漁業調査船としては、日本で初めての建造でありその後の調査船建造のモデルとなった。日本海総合開発調査に参加し、1000m台の深海漁場開発を行ない、深海部における漁業資源の分布状況を明らかにした。また、日本海ます漁業、さんま漁業、するめいか漁業の漁場形成および資源調査を行い、県内漁船の漁場誘導を積極的に実施し、生産向上に貢献し、昭和53年7月その任務を完了した。



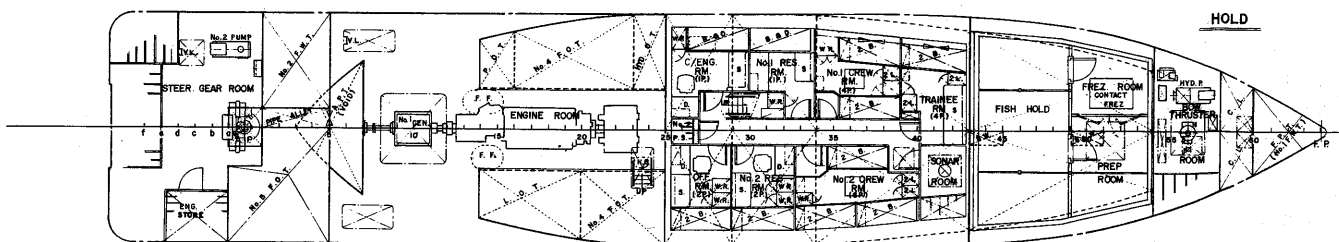
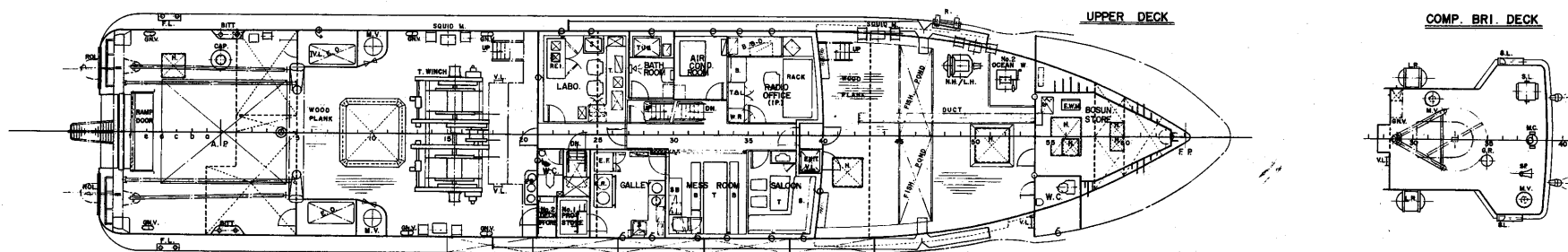
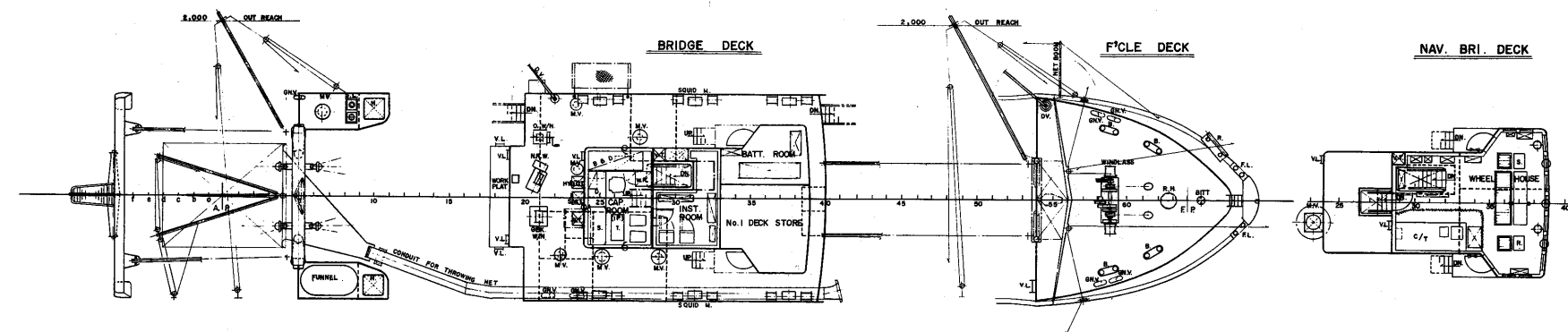
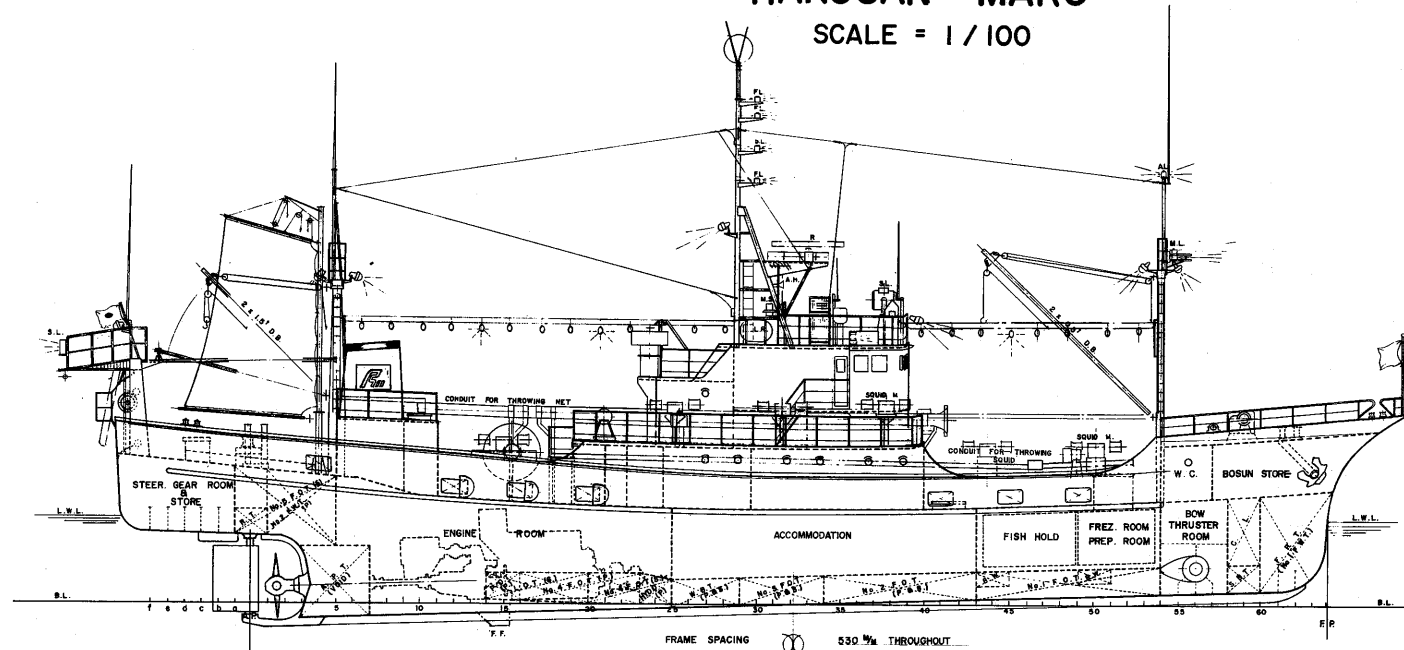
石川県水産試験場

〒927-04 石川県鳳至郡能都町字宇出津山分イ字15
電 話 07686-2-1324

GENERAL ARRANGEMENT

"HAKUSAN MARU"

SCALE = 1 / 100



白山丸主要目

●長さ(全長)	40.80m
(登録長)	34.20m
(垂線間)	34.00m
●幅(型)	7.30m
●深さ(型)	3.05m
●吃水(型計画満載)	2.70m
●総トン数	189.52TON
●主機関 中速ディーゼルエンジン 1300PS × 1基	
●速力 試運転最大	13.45KNOT
●定員	合計 22名
船員	15名
調査員	3名
研修員	4名
●容積	
燃料油倉	91.90m ³
清水倉	18.33m ³
魚倉	23.07m ³
準備室	9.63m ³
冷凍室	7.76m ³
●資格	第3種漁船
●航行区域	遠洋国際航行
●船舶番号	122534
●信号符字	J E Q I
●建造所	三菱重工業株式会社下関造船所